

# 表紙は語る 表紙は語る



NHKホールにて「GIFT」初披露の図 →



北京オリンピック開催まであと少し。DOKU—GAKU発行はオリンピック開催に間に合うのでしょうか？（そんなのぜんぜんどーでもいいことですけどね）

ところで、今回のオリンピックはいつもと様子が違いますか？



わたしのオリンピック熱が俄然盛り上がったのは3月中旬ミスチルがNHKのオリンピック公式ソングを担当すると決まった日からでした（純じゃない動機）。

ところがそれを境に（と言いたくなる）チベットでの抗議デモ、政府の弾圧と問題が日々テレビで取り上げられ、EU諸国は開会式不参加もあり得ると表明し、聖火が行くところ問題はついて回り、そして聖火のチョモランマ登頂の頃にあの四川大地震が起きたのでした。その被害の大きさに目を奪われ、自然の前でも政治の前でも被害を蒙るのはわたしたち一般市民なのだど胸が痛みました。オリンピックどころじゃないんじゃないか？



オリンピックは平和の祭典ともいうけれど、やっぱり政治と切り離せないのではないかと考えます。たかだかミュージシャンだけれど、たかだか公式ソングってだけの縁だけど、なんらかの形でミスチルがチベット問題に関する発言をするのもアリかなあと思っていました。ミュージシャンが政治的になっていくってどうよ？って部分はもちろんありますが、ミスチルの桜井氏はA p B a n kを立ち上げた時点で社会と積極的に係わって行く道を選んだはず。ミスチルとB a n k B a n dは別物と言いきれるほどその線引きは明瞭でない気がします。それならいっそ社会とも政治とももったかかわっちゃえばいいじゃん、と思ったりするのですが。





開催は間近。最近のニュースはバスの爆破事件や地方の暴動を伝え、北京市内ではオリンピックを成功させることだけに必死なように見えます。後に振り返ってみたとき北京オリンピックがどういう評価を得ることになるのかいささか気がかりでもあります。オリンピックのためだけでない長い目で見た環境対策や政治判断があり、オリンピックによって現実の諸問題が忘れ去られることのないことを祈っています。

# Gift



ところで、オリンピックといえばよく耳にする言葉。「一番輝いているものを取ってきます」それを聞いたときに「ほんとに金メダルなんて必要か？そんなことがほんとに大事か？そんなこと簡単に言っちゃっていいのか？」と案外オリンピックには冷たい視線を向けていました。

今回のNHKの公式ソング Mr.Children の「G I F T」は「勝つぜええ〜っ！」ってのでは全くない。とりたてて選手に向けて書いてるわけでもなさそうに見える。でも勝てなかった選手にはジンとくるかもしれないな。だいたいミスチルの歌は応援ソングなんだけど勝つことを目指していない。金色だけがいいんじゃない。それぞれが似合う色を探したらそれが一番輝いている色と歌っている。

(オリンピックに不向きじゃないのか？これで選手の気持ちは高揚するのか？)

一番きれいな色ってなんだろう？

一番光ってるものってなんだろう？

果てしない旅路の果てに「選ばれる者」とは誰？  
たとえ僕じゃなくたってそれでもまた走っていくよ  
降り注ぐ日差しがあっただからこそ日陰もあって  
そのすべてが意味を持って互いを讃えているのなら  
もうどんな場所においても光を感じられるよ



ところでわたしはレスリングの浜口京子ちゃんが大好きです。あのお父さんと一緒に暮らせる寛容さはたいしたもんだと思うのです。息子の嫁にはあんな子がいいなと密かに思ったりします!(^^)!